

## 1997年7月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

500 hPa 高度は、高緯度で波数3の偏差分布が卓越し、ブロッキング高気圧が停滞したスカンジナビア半島付近には顕著な正偏差域が見られ、カナダ北部や中央シベリア北部も正偏差となった。一方、極渦が南下してきた西シベリアは顕著な負偏差に覆われた。亜熱帯ジェットは、ユーラシア大陸東部から太平洋中部にかけて平年より北に偏っていた。200 hPa の発散場を見ると、ニューギニアの北の10°N 付近に見られ、平年より約20度東に偏っていた。また、SOI は-0.8であった。

### 世界の天候

#### ① 中国北東部の高温

月平均気温は、日本から中国北部・モンゴルにかけて高くなった。特に中国北東部ではかなり高く、大連で26.0°C (+3.0°C) であった。

#### ② 西シベリアの低温

月平均気温は西シベリアで低くなり、ロシアのトボリスクで14.8°C (-4.0°C) であった。

#### ③ パキスタンの高温

#### ④ スカンジナビア半島とイギリスの高温

#### ⑤ トルコからヨーロッパ東部の多雨

月降水量はトルコの一部からヨーロッパ東部・西部で多く、チェコのオストラバで351 mm(386%)となった。チェコやポーランド、ドイツ東部などで大規模の洪水が発生した。

#### ⑥ アフリカ北部の高温

月平均気温はアフリカ北部で高く、アルジェリアのエルゴレアで35.9°C (+2.7°C) であった。

#### ⑦ アメリカ合衆国南東部の多雨

月降水量は、下旬にハリケーンが通過したアメリカ合衆国南東部で多く、大雨・洪水の被害が報じられた。

#### ⑧ アメリカ合衆国中西部の少雨

月降水量はアメリカ合衆国中西部で少なく、セントルイスでは3 mm (3%) であった。

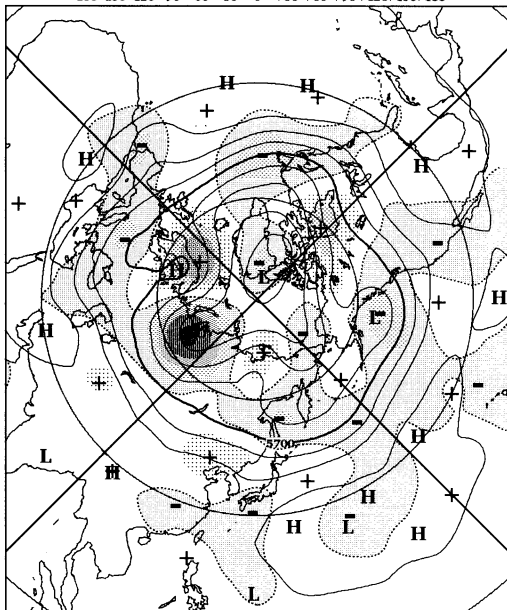
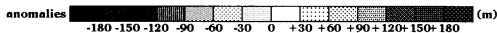
#### ⑨ 南アメリカ北部の高温

月平均気温は南アメリカほぼ全域で平年を上回り、特に北部でかなり高くなった。ベネズエラのマラカイボで30.5°C (+2.0°C) であった。

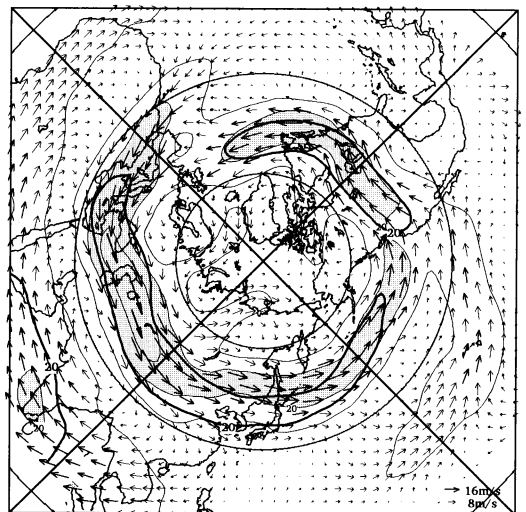
#### ⑩ チリの高湿

#### ⑪ オーストラリア南部の低温

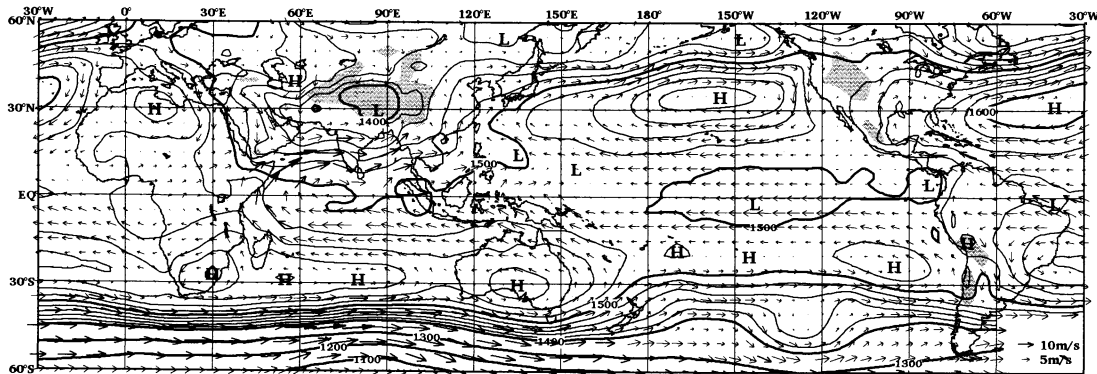
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 石原幸司)



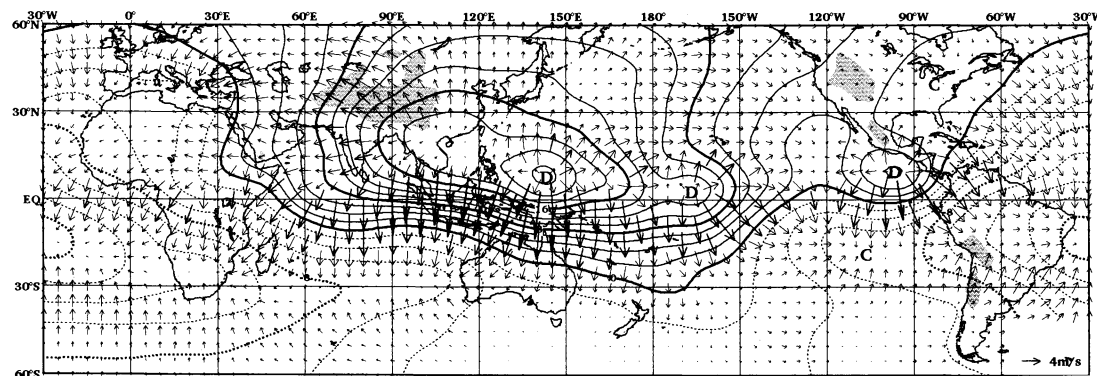
1997年7月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差等値線間隔、偏差パターン間隔は60 m、平年値は1961～1990年のデータに基づくもの。



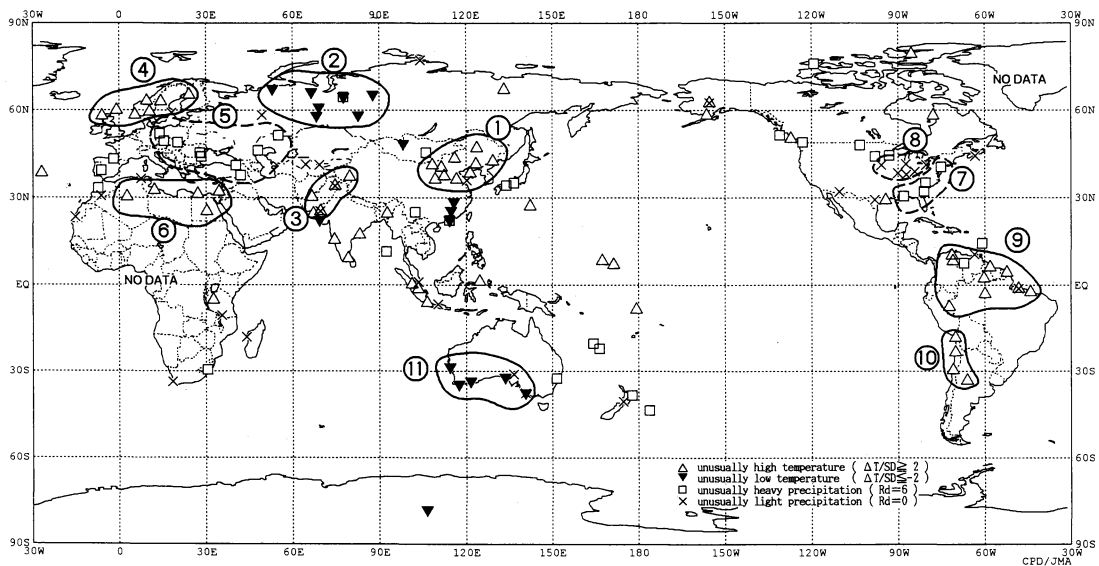
1997年7月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル等値線間隔は20 m/s、陰影部は平年で40 m/s以上、平年値は1979～1996年のデータに基づくもの。



1997年7月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



1997年7月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1997年7月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.